



全農

ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手

弧修智慧慧

日本最高レベルの技術を習得し農の未来を支える農業者になる

研修場所

埼玉県幸手市

研修期間

令和8年10月~令和10年9月

品目

トマト・ナス・キュウリ

研修費用

費用なし・給与支給

募集人数

4名程度

募集締切

令和7年8月31日

はじめに

- ・本トレーニングセンターは、施設園芸への就農支援を目的とした 生産施設であり、実務を通じてノウハウの習得を支援します。
- ・研修者は本会の臨時職員(給与支給・社会保険完備)として勤務するため 研修費用の自己負担はなく、トマト・ナス・キュウリの3品目に関して、本会が 持つ高収量を実現する栽培技術と温室運営ノウハウを、実践・座学を通じて 習得することができます。



施設概要

施設名称	ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手	
開設場所	埼玉県幸手市神明内	
規模•仕様	3ha(約7,000㎡×4区画ほか) 高軒高ハウス、養液栽培	
栽培品目	トマト、ナス、キュウリ	



ゆめファーム全農 トレーニングセンター幸手 完成イメージ

研修内容

1. 実践

栽培・労務・出荷収支等の実務および管理。

(本会職員の指導のもとに温室運営管理者としての役割を担います。)

2. 座学

植物生理・環境制御・潅水制御・農業経営等の講義。

(動画教材やオンデマンド形式による学習)



研修スケジュール(予定)





ゆめファーム全農とちぎ

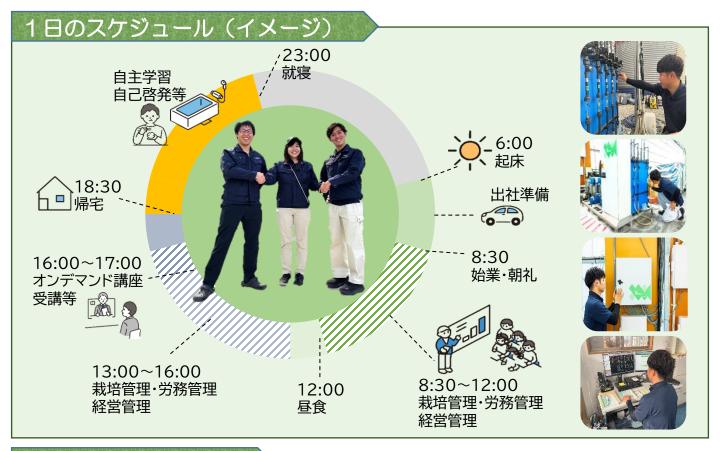


ゆめファーム全農こうち



ゆめファーム全農SAGA

- ※トレーニングセンターの建設スケジュールにより変更となる場合があります。
- ※トレーニングセンターでの研修開始前に、ゆめファーム全農各場でもプレ研修を行います。(任意) 場所:ゆめファーム全農とちぎ(栃木県栃木市)、ゆめファーム全農こうち(高知県安芸市) ゆめファーム全農SAGA(佐賀県佐賀市)



就農5年目の経営収支

	トマト	ナス	キュウリ
収穫量(t)	230	161	253
売上(万円)	8,087	6,882	8,908
費用(万円)	7,435	6,486	8,173
所得(万円)	652	336	735

所得は、300万円台前半~700万円台前半

【試算条件等】

- ·栽培面積5,000㎡
- ・収穫量、販売単価、労務費、農業用ハウス取得費等の変動要素に関する試算値は、市場実勢や全農での実証での実態を踏まえた想定値。

主な変動要素における影響度は、「販売単価=収量>労務費>農業用ハウス建設費」の順。

- ※試算値はモデルケースであり、実際の手取り所得を保証するものではありません。
- ※就農開始後、栽培・収穫量が安定し、経営が軌道に乗るまでは2~3年かかる場合があります。

募集内容

募集人員	4名程度	
研修期間	令和8年10月~令和10年9月(原則2年間·応相談)	
研修場所	ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手 ※状況により、ゆめファーム全農(栃木・高知・佐賀)にて開始する場合あり	
就業時間	8:30~17:00 (始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げる場合あり)	
休日	原則、週休2日。加えて、国民の休日・年末年始。 (ただし、休日を出勤日とする場合、それに対応する日に振り替える。また休日出勤あり。)	
給 与	時給1,078円~(令和7年5月時点。最低賃金の改定に合わせて変更の場 合有。)	
福利厚生	交通費支給(上限あり)、有給休暇有、雇用保険、労災保険、厚生年金、健康 保険	
応募資格	1. 普通自動車運転免許必須(AT限定可) 2. 入会時に住民票がある地域のJA組合員になる方 3. 10年以上営農を継続できる方 4. 性別や農業経験の有無は不問	

応募方法

- 1. HPより申込書、身上調書をダウンロードし、記入後メールにて提出していただきます。
- 2. 提出期限:令和7年8月31日
- 3. 提出先 :全国農業協同組合連合会 耕種資材部 施設園芸企画課

メールアドレス zz_zk_zennoh_horticulture@zennoh.or.jp

※就農予定先等からの推薦状がある場合は同時に提出願います

※詳細はHPに掲載の「募集要領」を必ずご確認ください



↑HPはこちら

選考プロセス

1次選考 書類審査:令和7年9月上~中旬頃

2次選考 適性検査:令和7年9月下~10月上旬頃

3次選考 面接 :令和7年10月中~下旬頃(現地予定)

※旅費·宿泊費:本会負担

求める人物像・応募者心得

- 1. 研修修了後に施設園芸で就農をする方(農業経験は不問。チャレンジ意欲、熱意)
- 2. 経営的視点を持ち、事業として取り組む方(ビジネスマインド)
- 3. 地域および日本の農業をリードしていきたい方(リーダーシップ、コミュニケーション力)
- 4. 農業協同組合(JA)の組合員として営農活動する方

問合せ先

全国農業協同組合連合会 耕種資材部 施設園芸企画課

メールアドレス: zz zk zennoh horticulture@zennoh.or.jp



